令和８年９月１８日

# 令和７年度　経営発達支援計画　最終評価

令和７年度経営発達支援計画に係る評価について、別紙５名の評価者により書面評価を実施し下記のとおりとなった。
また、５名の評価を基に最終評価を行い、結果は以下のとおりとなった。（最終評価の方法は下記のとおり）

**◎評価者における評価基準の目安【Ａ～Ｅの５段階評価】**

Ａ．目標を達成することができた。（100%以上）　Ｂ．概ね目標に近い実績または効果・活用がみられた。今後期待ができるもの。（80%～99%）
Ｃ．概ね目標の半分程度の実績または、検討及び改善が必要である。（30%～79%）　Ｄ．ほぼ実績なし。（30%未満）　Ｅ．未実施　（　0%）

**◎最終評価方法**

・項目ごとに５名の評価者のＡ～Ｅ評価を５段階に点数化する。（Ａ⇒５点、Ｂ⇒４点、Ｃ⇒３点、Ｄ⇒２点、Ｅ⇒１点）
・項目ごと点数を合計し、評価者数（５名）で割り返し平均を出す。割り切れなかった場合は四捨五入し、最終点数（１～５点）とする。
・最終点数（１～５点）をＡ～Ｅ評価にあてはめ、最終評価とする。
（５点⇒Ａ評価、４点⇒Ｂ評価、３点⇒Ｃ評価、２点⇒Ｄ評価、１点⇒Ｅ評価）

**評　価**

Ⅰ．経営発達支援事業の内容

| 項　目 | 今年度評価 | | | | | 合計点 | 平均点 | 最終点 | 最終評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 住吉氏 | 中川氏 | 水葉氏 | 石丸氏 | 齋藤 | | | | |
| １．地域の経済動向調査に関すること | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | 25 | 5.0 | 5 | Ａ |
| ２．需要動向調査に関すること | Ｃ(3) | Ｃ(3) | Ｃ(3) | Ｂ(4) | Ｃ(3) | 16 | 3.2 | 3 | Ｃ |
| ３．経営状況の分析に関すること | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | 25 | 5.0 | 5 | Ａ |
| ４．事業計画策定支援に関すること | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | 25 | 5.0 | 5 | Ａ |
| ５．新規創業者への取組み | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | 25 | 5.0 | 5 | Ａ |
| ６．事業計画策定後の実施支援に関すること | Ｂ(4) | Ｂ(4) | Ｂ(4) | Ｂ(4) | Ｂ(4) | 20 | 4.0 | 4 | Ｂ |
| ７．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること | Ｂ(4) | Ｃ(3) | Ｃ(3) | Ｃ(3) | Ｂ(4) | 17 | 3.4 | 3 | Ｃ |
| ８．経営指導員の資質向上に関すること | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ｃ(3) | 23 | 4.6 | 5 | Ａ |
| ９.他の支援機関との連携を通じた支援のノウハウ等の情報交換に関すること | Ａ(5) | Ａ(5) | Ｂ(4) | Ａ(5) | Ｂ(4) | 23 | 4.4 | 4 | Ｂ |

ご意見等

１．地域の経済動向調査に関すること

石丸氏：RESAS および LOBO 調査の景況動向による経営支援を継続しており、実施目標を達成しておりＡランクとした。

２．需要動向調査に関すること

住吉氏：参加事業者数の伸び鈍化傾向にある。本イベントへの出店に関する事業者の意識調査等による課題把握も必要ではないか。

中川氏：人手不足、コスト高騰、働き方改革など本計画の策定当初から企業の物産展への出店動向が大きく変わってきている。そうした中でも、出展支援を実施し３割強の参加実績を出したことは大いに評価できる。但し、定量的に評価するとＣという評価となる。

水葉氏：事業者の負担少なく需給動向調査を行うことのできる事業と思料する。ＰＲ方法や手数料等の見直しにより、参加事業者は増加するのではないか。

石丸氏：東京開催の物産展の出店企業の増加が期待されていたが、当年度も微増に止まっている現状から前年度同様にＢランクに留めた。

３．経営状況の分析に関すること

水葉氏：積極的にセミナーを実施されており、必要に応じ積極的に専門家派遣事業を活用して欲しい。

石丸氏：当年度においても実績が前年度よりも増加する兆候が把握でき、Ａランクを継続した。

４．事業計画策定支援に関すること

水葉氏：積極的にセミナーを実施されており、必要に応じ積極的に専門家派遣事業を活用して欲しい。

石丸氏：当年度の実績は、開催回数および事業者数とも前年度を下回るが、共に目標を超過していることからＡランクと評価した。

５．新規創業者への取組み

石丸氏：当年度で注目すべきは創業目標数が大幅に増加していることである。同時に継続して目標値を達成しておりＡランクを保持している。

６．事業計画策定後の実施支援に関すること

住吉氏：フォローアップ対象事業者等は目標を達成しているものの、売上及び利益増加事業者の伸びは低迷しており、Ｂ評価とした。

中川氏：フォローアップ事業者及び頻度は昨年度を下回っているものの目標値に達しており、売上増加事業者数は伸びているものの、売上・利益ともに目標を大きく下回った。要因は賃金上昇や物価高騰などの影響が重なり、急激に伸びることは難しいことを考慮すると、昨年同様Ｂ評価とした。

水葉氏：フォローアップ支援対象先の効果確認のため、決算資料の提出を必須としてはどうか。

石丸氏：当年度は、対象事業者数および頻度とも目標を超過しているが、前年度に比較して低下傾向が認められる。ただし、売上増加事業者数は逓増に好転している反面、利益増加者数は減少に止まっている。現況の物価上昇や人件費の上昇等コストアップに要因が推察される。今後は、省人化投資や価格転嫁策等経営戦略の高度化を期待したい。評価は上記の諸点から前年同様Ｂランクとした。

７．新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

住吉氏：売上・利益とも目標に対して低迷している。但し、近年の賃金上昇や物価高騰などの外部要因が及ぼした影響の大きさを考慮しＢ評価とした。

中川氏：販路拡大支援事業者少ないものの、海外展開、IT 活用など支援者数は目標を達成している。但し、３事業（売上額、成約率、利益増加）の未達率が大きいためＣ評価とした。

石丸氏：全事業において昨年度に比べ好転する状況が評価されないことからＣランクとした。

８．経営指導員の資質向上に関すること

中川氏：昨年同様、外部専門家個別指導に職員が同席しＯＪＴにするなど、職員のスキル向上を積極的に図っており非常に評価できる。

石丸氏：前年度から引き続き意欲的な姿勢からＡランクとした。

９．他の支援機関との連携を通じた支援のノウハウ等の情報交換に関すること

中川氏：コロナ禍以降開催中止になり再開できていないものを除き、各機関との連携は図れていることから昨年同様Ａ評価とした。

水葉氏：十二者連絡協議会を通じ、効果的な事業者支援が行われることを期待します。

Ⅱ.地域経済の活性化に資する取組

| 項　目 | 今年度評価 | | | | | 合計点 | 平均点 | 最終点 | **最終評価** |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 住吉氏 | 中川氏 | 水葉氏 | 石丸氏 | 齋藤 | | | | |
| 地域の経済の活性化に資する取組（観光振興に関わる取組も含む） | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ａ(5) | Ｂ(4) | 24 | 4.8 | 5 | **A** |

ご意見等

地域の経済の活性化に資する取組（観光振興に関わる取組も含む）

住吉氏：年間を通じて（夏・秋・冬）大規模なイベントを実施し、天候等の影響を受けつつも、コロナ禍以降は堅調な集客を維持しているため、Ａ評価とした。

中川氏：各種イベントとも増加若しくは横ばいとなっている。特に 90 万人以上の来場があるイベントがあることは、旭川商工会議所が地域の自治体や関連団体と連携をとってきた、中核的な役割を行ってきたことが大きいと非常に評価できる。昨年も意見したが、イベント事業を増やすには限界があることから、今後は別のイベントが発生したときに参加する事業をどう選定及び人材等の確保をしていくことが重要になってくると思う。

水葉氏：各イベントは集客力も大きく、地域にとって重要なイベントとなっており、引き続き地域の賑わい創出効果に期待します。

石丸氏：　全事業において昨年度と比較して大きな変動が認められないことから、Ａランクとした。なお、各イベントから近時、海外客や道外客の増加傾向が推測され、望ましい現状の結果となっている。